

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 219 『和気香風』 かき こうふう

< 意味 > のどかな陽気とともに、よい香りが満ちていること。暖かな小春日和についていう場合が多い。

表 言 : 和気香風のうちに眠気をもよおす

用 例 : また春の日に瓊葩けいはしゅうよう綉葉の間、和気香風のうちに、臥榻がとうを据えてその上に臥ねそべり、次第に遠ざかり往く虻の声を聞きながら、眠るでもなく眠らぬでもなく、<二葉亭四迷・浮雲>

語 釈 : 「和気」は穏やかでのどかな気候の意。この場合、「和気」は「かき」と読む。「香風」はよいにおい、よい香りを含む風の意。

一 言 : 温かい日差しが降り注ぎ心地よい風が吹き抜けます。テレビのニュースを観ると、各観光地は、3年ぶりのコロナによる制限がないゴールデンウィークで大変な人出になったようです。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」